令和４年度第２回東海村高齢者福祉計画推進委員会　議事録

日時		令和４年９月26日（月）午後６時30分～午後８時
場所		東海村役場　原子力視察研修室
出席者	委員	薄井委員長，藤澤委員，土屋委員，安田委員，松本委員，今橋委員，青木委員，石丸委員，阿部委員，砂押委員，関山委員，内藤委員，岡野委員，清水委員，舟木委員，菊本委員，岡村委員，杉山委員
	事務局	（地域福祉課）山口課長補佐，ヴァキリ係長，檜山主任，増子主事，（保険課）照沼課長，川﨑課長補佐，上田係長，前田係長，濱保健師，（総合相談支援課）武藤係長，川上係長，（健康増進課）高橋係長
議題		⑴第９期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画に向けたアンケート調査に対する意見聴取 ⑵その他（第９期高齢者福祉計画策定に関しての意見聴取 等）
内容		
議題⑴ **調査の概要**		●事務局より各種アンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査，在宅介護実態調査，在宅生活改善調査）の概要を説明し，追加項目案等に関する意見を求めた。 〇ニーズ調査（必須） 【調査の目的】：本村高齢者の日常生活状況や心身の状態，介護予防に関する意識等について伺い，次期計画づくりの参考とする。 【調査項目】：大半が国から提示の必須項目。市町村独自の追加項目も設けられる。社会参加，介護予防推進等のために必要な支援の把握等に関する調査項目。 【対象者】：一般高齢者，要介護者よりも比較的軽い要支援者　65歳以上を対象　1,500名 〇在宅介護実態調査（必須） 【調査の目的】：適切な在宅生活の継続と，介護者の就労継続の両立を支えるために，どのようなサービスが必要であるかを把握するもの。 【対象者】：要介護認定者　600名 〇在宅生活改善調査（任意） 【調査の目的】：重度な介護状態となっても，住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域づくりから，具体的な介護サービスの提供

	を導き出すために行うもの。 【対象者】: 居宅介護支援事業所，ケアマネジャー
意見・追加項目案	・身長体重についての設問（国指定）があるが，BMI の数値を出す等の村独自の分析は可能か。 ⇒個別で支援につなげることは可能だと思うが，計画に反映させるための分析という点では，全て手作業になるため現時点では答えかねる。 ・介護予防・日常圏域ニーズ調査について 1,500 通送付して 60%の回収率を想定しているとのことだが，世代ごとの回収率は把握しているか。 ⇒要介護認定のない比較的元気な 65 歳以上の中から無作為に 1,500 名を抽出して調査を実施しているが，さらに細かい年齢区分毎の集計はしていない。 ・「介護や介助が必要になった主な原因は何か」という設問と「現在治療中，または後遺症のある病気はあるか」という設問の選択肢が大変類似している，この対象者はいずれも本人ということでよろしいか。 ⇒いずれも対象者は本人である。現在治療中の病気が，必ずしも介護や介助が必要となる原因になっているとは限らず，別の設問となっているのだと思う。 ・見守りシステムを知っているか，また，見守りシステムを利用したいかについて伺う設問があるといいと思う。 ・運転免許について，現在運転をしているか，将来的に免許返納の意思があるか等を追加してもいいのではないかと思う。 ・日用品等の買い物をするために，どのくらいの頻度で外出するかを聞いてもいいと思う。 ・第 8 期に向けたアンケート調査結果で，自由記述欄に調査に対する住民の声が多く反映されていたと思う。本来であれば今回の調査に反映すべきだったのではないかと反省している。 ⇒貴重な意見として承り，事務局にて検討する。

議題(2) **意見**	●第 9 期高齢者福祉計画の策定にあたって，委員それぞれの目線からの忌憚のない意見を求めた。 ・コロナ禍で大きく環境が変わる中，SNS の利用など高齢者の情報格差についての支援を検討していただきたい。 ・地域住民から自力でごみを捨てるのが難しくなってきているという声を多く聞く。要介護度などの一定の要件を満たす人だけでなく，幅広い支援を検討してほしい。（中には住民同士で協力してごみ捨ての支援をしているという地区もあるとのこと） ・今回検討しているアンケート調査について，ある程度国で枠組みがあることは理解したが，おかしいと思う点などについては市町村の担当者から国に意見をしてもいいと思う。 ⇒貴重な意見として承る。
連絡事項	・次回委員会は 11 月か 12 月頃に開催予定。詳細については追って連絡する。

以上